

# ユニバーサル・ヘルス・カバレッジ (UHC)概要

**UHCとは、すべての人が、効果的で良質な保健医療サービスを負担可能な費用で受けられること。**

## UHCとSDGs (持続可能な開発目標)

**UHCは全てのSDGs達成の基盤。**

○日本の後押しによりSDGs目標にも導入。

○目標3. すべての人に健康と福祉を

ターゲット3.8. すべての人々に対する財政リスクからの保護, 質の高い基礎的な保健サービスへのアクセス及び安全で効果的かつ質が高く安価な必須医薬品とワクチンへのアクセスを含む、**ユニバーサル・ヘルス・カバレッジ (UHC)** を達成する (2030年まで)。

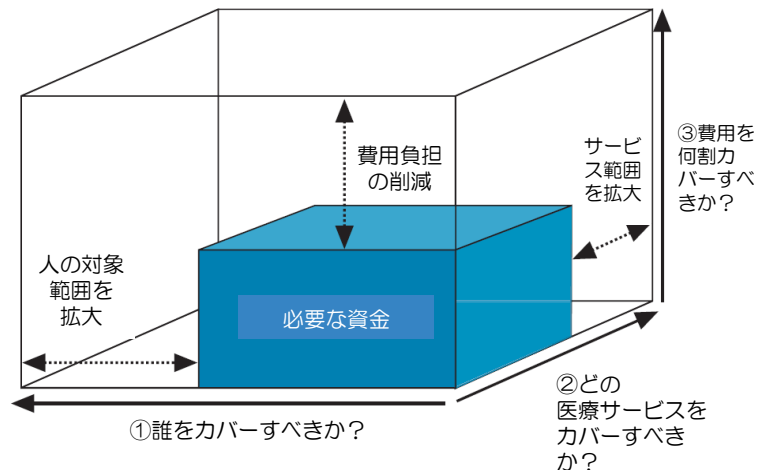
※日本では1961年に日本版UHCである国民皆保険制度を構築。

## UHC達成に向けた我が国のリーダーシップ

- ✓ 2015年9月：岸田外務大臣 (当時) の下、**SDGsへのUHCの導入を後押し**
- ✓ 2016年5月：G7伊勢志摩サミット首脳宣言において**UHCの重要性を強調**
- ✓ 2017年12月 UHCフォーラム2017「**UHC東京宣言**」の採択 (安倍総理 (当時)、国連事務総長等出席)
- ✓ 2019年9月：初の**国連総会UHCハイレベル会合を主導**、UHCフレンズグループ議長として**UHC政治宣言のとりまとめ**、唯一の加盟国首脳として閉会挨拶。
- ✓ 2023年5月：G7広島サミットでUHCの重要性を再確認
- ✓ 2023年9月：第二回国連総会UHCハイレベル会合に岸田総理及び武見厚生労働大臣が登壇。

## UHCの3つの側面

- 出典：WHO (2010)
- ① **人口の対象範囲**  
(なるべく多くの人口を対象とする)
  - ② **医療サービスの範囲**  
(なるべく多くのサービスを含める)
  - ③ **費用負担の割合**  
(なるべく多くの費用を公的に負担する)



現状および今後の目標：

- ①少なくとも**世界の人口の約半数**が基礎的な医療サービスに負担可能な費用でアクセスできていない。  
→世界の全人口にアクセスを確保。
- ②年間約**1億人**が医療費負担により**極度の貧困**に陥る。  
→医療費負担による貧困をゼロに。  
⇒2023年に**国連総会UHCハイレベル会合**でフォローアップ  
⇒2030年までに、全ての国・地域でUHCを達成。